

シグマ研究委員会
JENDL-3検討小委員会(拡大)会合議事録

日 時 昭和55年11月17日(月) 13:30～17:00
場 所 原研本部 第7会議室
出席者 原田(原研, 小委員長)
木村(京大炉), 中沢(東大炉), 山本(FBEC),
瑞慶覧(日立工研), 松延(住友原工), 川合(NAIG),
飯島(NAIG), 石黒, 田中, 五十嵐, 浅見(原研)
欠席者 菊池, 関(泰), 関(雄), 山室

配布資料

1. 前回(55. 11. 20)議事録
2. JENDL-3計画
3. JENDL-2とJENDL-3との関係

議 事

1. 前回議事録確認

資料(1)により確認を行った。

2. 経過説明

今回は拡大委員会であって本小委員会委員以外の人も加わっていることから、この小委員会でのこれまでの議論の経緯、アンケート調査等について浅見氏より説明があった。これに関して、アンケートの送付範囲、DDXデータの今後の作業、dosimetry fileの扱い等について質問があった。

3. JENDL-3計画のまとめ

田中氏から、資料(2)により核データセンターで行ったJENDL-3の作業量及び必要なman powerのestimationについて説明があり、その中でこの作業には現在想定される従事者のほかに約13名の人員が必要であ

ることが説明された。また、JENDL-3の作業はJENDL-2の進行状況と密接に関連することから資料(3)によりJENDL-2とJENDL-3との関係についても説明があった。その後の討論で出された問題点、意見、質疑応答等の主なものは次の通り。

- アンケートで出された要望を切るときは、理解してもらうためにもJENDL-3の目的をもっとはっきり示す必要がある。
- アンケート調査の範囲をもっと広げておいた方が協力をえられ易かったのではないか。
- 第2再処理工場、とくにその臨界安全性もJENDL-3の目的の1つに入れて検討したらどうか。現在のまゝでは核種が足りない。
- DDXデータを必要とする核種(元素)を検討する必要があるDDXについては東北大の楢山氏らが科研費でやろうとしているので協力をえたらどうか。
- dosimetry fileは、協力がえられれば作ることも考えられる。→中沢氏が学会の専門委員会に話を出して検討してみる。

ENDF/B-Vのdosimetry fileがあっても、dosimetryデータの誤差評価をちゃんとやるためにはdosimetry fileを独自でつくる必要がある。

- 原研では、熱中性子炉の標準システムの整備を進めており、熱中性子炉のデータにも力を入れて欲しい。→熱中性子炉を軽視しているわけではないが、高エネルギーでのデータの不備を改善するのが急務になっている。
- 作業量のestimationの根拠は何か。資料(2)のestimationで腑に落ちないところがある。
- 遮蔽用の炉定数のサービスを考えて欲しい。→これについては原研核データセンターと炉工部との話合いで検討する。

炉定数について遮蔽研究の側から特別の要求があるが、needsがまともっていないのが問題である。JENDL-2だけでは遮蔽定数がつくれない。Cu, Ca, Si等のphoto productionのデータが必要である。

等々と議論は多岐に亙った。

次に、原田氏から JENDL-3 作業のための人員の不足を原研内で解決するのは困難であるとの実状の説明があり、原研外からの協力の可能性、今後の作業の進め方、体制をどうするか等の議論を行った。

大学関係からの協力の可能性に関連して、科研費による活動の現状、dosimetry、積分データ関係の活動状況等の説明があった。

また、民間会社関係からの協力については、5名が限度で、よくて3名程度であること、それを前提として計画を再検討したらどうか。利用者が核データの重要性を認識していない面のあること、JENDLを多くのプロジェクトに使用することを authorize してもらうことも必要であること、データの比較プロット図もPRのよい材料であること等々の意見があった。

作業の体制に関しては、核データ専門部会内のWGの再編成が考えられること、FPと重核データについてはそれぞれWGでまとまった作業が可能であること、WGを評価する quantity によって分ける方法もある等の意見が出た。また、核融合核データを急いで整備する必要があるのなら、核融合開発の関係者に、必要な人員と作業の範囲とを明示して協力を要請したらどうかとの意見もあった。その他に、国際協力の可能性、とくに中国の事情について議論が行われた。

核データセンターで、これまでの議論をまとめて答申書を作成することにし、答申書の原案ができた時点で次の会合を行うことにした。

次回はとりあえず12月22日（月）とする。